

第1学年 社会科(地理的分野)学習指導案

日 時:令和6年9月27日 第5校時

場 所:1年4組 教室

生 徒:1年4組 35名

指導者: [REDACTED]

指導教員: [REDACTED]

1. 単元名 第2章 第3節 アフリカ州「中学生の地理 世界の姿と日本の国土」(帝国書院)

2. 指導について

(教材観)

本単元は、学習指導要領社会科地理的分野 B「世界の様々な地域」(2)「世界の諸地域」③「アフリカ州」の内容を受けて設定したものである。学習指導要領では、各州の地域的特色を大観し理解すること、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することが目的とされている。「アフリカ州」は、広大な面積を持ち、熱帯をはさんで対称的な気候帯が南北に見られる地理的特徴を持っている。また人類の誕生の地として古い歴史をもっている。さらに16世紀以降、奴隷貿易の中心となり、長い期間ヨーロッパの植民地であった歴史も併せ持っている。現在は、植民地時代に強制されたモノカルチャー経済が成立し、ヨーロッパ諸国との貿易が中心であり、近年は先進国に注目されているレアメタルの採掘や適正な価格で取引を行うフェアトレードなど、経済の安定に向けた取組も行われている。一方、アフリカ州の多くの国が抱える問題として、人口増加による食料不足、貧困や飢餓、テロや紛争などが挙げられる。これらを踏まえて、本単元では毎時アフリカの抱える課題を取り上げ、それにかかわる発問を通して生徒の思考力や判断力を養わせたい。また、他人事として捉えるのではなく、自分たちの生活との関わりや、比較を通して学ばせることにより、国際理解・多文化理解をさせることに力点をおきたい。

(生徒観)

本学年の生徒は前回までの授業から、アフリカの地形や気候の分布と特徴についての知識がついている生徒が多い。写真やグラフ・資料からの読み取りも、周りの生徒との話し合いなどを通して特徴や答えを導くことができている。また、教師の質問に対して発言を行ったり、グループでの活動においてもお互いの意見交換がしっかりと行うことができるなど、積極的な授業参加が見られる生徒が多い。一方で、自分の考えを文章にまとめることが難しい生徒も多くいるため、他の生徒との意見交換の中から自分の考えを導きださせて、文章や発表という形で表現させることが必要だと考えられる。

(指導観)

本単元を通して、アフリカの地形や社会的事象などイメージがつかみやすいように、写真や映像資料などを用いた授業展開を行っていく。また、グラフや統計資料からの読み取りができる生徒も多いため、中心となる発問を行う前段階として資料の読み取りを取り入れ、生徒が発問の答えを導きやすくすることが効果的だと考える。中心発問に関しては、まずは一人で考える時間を取り、文章に書き起こすなど他の生徒に意見を伝える準備をさせるように指示を行っていく。生徒同士の話し合い時間を取り入れ、他の生徒と意見交換したうえでより効果的に答えが導き出せるようにしていきたい。

そして、アフリカの課題という自分たちとの関りが薄いように感じられる事柄をより身近なものとして感じられるように、日本との関わりや自分たちとの関りにも着目して授業を進めていき、アフリカの課題に関して自分なりの考えが持てるように促したい。

3. 単元の目標

- ・ アフリカ大陸の地形・気候・資源などの地理的特性を理解する。
- ・ アフリカ州の文化や社会的課題について理解する。 【知識及び技能】
- ・ アフリカ州について自然環境や歴史的背景に着目し、アフリカ州が抱える課題について資料を基に考察し、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・ アフリカ州の人々の暮らしや課題の変化に関心を持ち、自分自身の生活と比較し、意欲的に探究することができる。 【学びに向かう力、人間性等】

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現在のアフリカ州が持つ課題について、3つの視点(都市化・経済格差・環境問題)を踏まえて理解している。	写真や表から、アフリカ州では都市化が進む一方で、農村地域との較差や生活水準が異なること、また世界の水準と比較して、アフリカ州の課題について説明している。	アフリカ州の様々な課題について、どれが最も深刻で解決すべき課題かを根拠を基に説明でき、自分たちは何ができるか意見を持つことができる。

5. 指導と評価の計画(全4時間)

時	学習の狙い	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	「アフリカ州の自然環境」 ○アフリカ州の自然や気候の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。	アフリカ州の主な地形や気候の分布について地図帳からの読み取りができる	砂漠化についてどのような原因で起こり、どんな影響があるのか考えることができる	
2	「アフリカの歴史と文化」 ○アフリカ州の歴史や文化について、歴史的事象と現在のアフリカとの関わりから考察する。		現在のアフリカの国とヨーロッパの国々との関係を歴史的背景から理解することができる	アフリカの歴史について興味を持って意欲的に調べようとする。
3 (本時)	「特定の輸出品に頼るアフリカの経済」 ○アフリカ州の産業の特色やモノカルチャー経済の実態について統計資料から読み取る。	グラフや統計から、アフリカの経済の特徴を読み取ることができる	モノカルチャー経済の意味を理解し、問題点を考察できる	フェアトレードの考え方に興味を持ち日常生活との関わりを意欲的に考えようとする

	○アフリカ州の産業から、国際支援の在り方を多面的・多角的に考察する。			
4	「アフリカが抱える課題とその取り組み」 ○アフリカ州の課題について、都市化・人口増加・環境問題などの視点から理解する。		現在のアフリカの課題について説明できる	アフリカの課題をどのようにして解決すべきか意見を持つことができる

6. 本時案(第3時)

(1) 目標

【知識及び技能】

・アフリカで栽培されている農作物や採掘されている鉱産資源の特色を理解し、その自然環境や歴史的背景に着目し理解できる。

・アフリカの多くの国は特定の農産物、鉱産資源の輸出に頼ったモノカルチャー経済になっていることを理解する。

【思考力・判断力・表現力】

・モノカルチャー経済の問題点に着目し、資料の読み取りを通して考察することができる。

・他者の意見を聞き、自分の意見と比較しながら文章に表現することができる。

【学びに向かう力・人間性】

・フェアトレードの取り組みを理解し、日常生活からアフリカの社会的課題について興味を持ち探求することができる。

(2) 学習過程

	学習活動	主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点	□資料 ○評価基準【観点】 (評価の方法)
導入	・カカオ豆からチョコレートになる過程の動画を見て何を作っているか予想する ・チョコレートからアフリカの農業への興味を高める ・カカオの多くはアフリカで生産されていること知る ・アフリカギニア湾沿岸の国々で世界の総生産量の半数以上が生産されていることを知る	「何を作っている動画だろう」 「チョコレートは何からできているだろう?」 「カカオが作られる気候帯は?」	「チョコレート」 「カカオ豆・砂糖」 「熱帯気候」	・教科書P.88①を読み取らせる ・掛地図を使って場所を確認する	○動画を見てアフリカの農作物について知ろうとする【主】 □教科書P.88① □掛地図 □教科書 p.88② □チョコレート国別消費量ランキング
展開①	・アフリカのカカオ農家の現状について知る ・カカオは植民地時代にヨー			・ワークシートを配布する ・プランテーション	

	ロッパ人によって持ち込まれたことを知る ・カカオ農家が抱える問題について考える ・多くの農作物が輸出用の作物として栽培されていることを知る ケニア→茶 エチオピア→コーヒー	Q1. カカオ農家の人々はなぜチョコレートを食べられないのだろう ・カカオ農家が抱える課題には何があるだろう	「賃金が安く、外国製の高級品であるチョコレートは買えないため」 「アフリカにチョコレートを作る技術がない」 「低賃金・児童の労働・学校にいけない子どもたちがいる」 「年間の収入が少ない」	・理由を考えさせる ・どんなことに気づいたか近くの人と話し合わせる	□教科書 P.88 インタビューの図 ○カカオ農家の人々はなぜチョコレートを食べられないのか考えられる【思判表】 □NHK for School 「ガーナの輸出品」を視聴 ○カカオ農家が抱える課題を読み取ることができる【知技】 ○カカオや茶、コーヒーが輸出用の作物であることを理解する【知技】
展開②	・鉱産資源の開発について、アフリカでは多くの鉱産資源も各国の重要な輸出品となっていることを知る	Q2. 教科書 p.89④を見て、各国の主な鉱産資源を読み取ろう	「ガーナ→金」 「ザンビア→石炭、銅、コバルト」 「ナイジェリア→天然ガス、原油」 「南アフリカ共和国→金、ダイヤモンド、プラチナ、クロム、マンガン、鉄鉱石」	・周りと答えの確認をさせて、その後全体で共有させる ・レアメタルに線を引きさせる	□教科書 p.89④の図 ○資料から鉱産資源の分布を読み取ることができる【思判表】 ○鉱産資源も重要な輸出品であることを理解する【知】
展開③ まとめ	・モノカルチャー経済について、アフリカの経済が特定の農作物や鉱産資源の輸出に頼っていることを知る ・モノカルチャー経済の問題点について考える	・教科書 p.89⑥の図と日本の輸出品のグラフから読み取れることは何だろうか ・教科書 p.89⑦の資料から読み取れることは何だろうか	「アフリカは輸出口が低く、輸出品が農作物や鉱産資源が多い」 「価格の変動が大きく、収入にばらつきがある」	・自分の考えと他の人の考えを周りと交流させる	□教科書 p.89⑥の図 □日本の輸出品のグラフ □教科書 p.89⑦の資料 ○資料からアフリカ

○アフリカの農作物の特色

Q1. カカオ農家の人々はなぜチョコレートを食べれないのだろう

→農家の人々は自分たちが食べるイモ類やバナナと共に輸出用のカカオを栽培

☆動画からわかるカカオ農家の人々の課題を書こう

・カカオ以外にもケニアの(ア)やエチオピアの(イ)などが輸出用の作物として盛んに栽培されている

○アフリカの鉱産資源

・アフリカは金やダイヤモンド、原油、天然ガスなどの(ウ)に恵まれている
近年ではスマートフォンや自動車の部品などに使われる(エ)が注目され、
採掘が進んでいる

※レアメタル…埋蔵量が非常に少ない金属や取り出すのが技術的・経済的に難しい金属の総称

Q2. 教科書 p. 89④を見て、各国の主な鉱山資源を読み取ろう

国名	鉱産資源
ガーナ	
ザンビア	
ナイジェリア	
南アフリカ共和国	

→このような鉱産資源は農産物とともに各国の重要な輸出品となっている

○アフリカの経済の課題について考えよう

・アフリカの多くの国は、国の経済が特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼った状態になっている⇒(オ)

Q3. モノカルチャー経済の問題点を考えよう

自分の考え	他の人の考え

Q4. フェアトレードの役割についてまとめよう

--

使用ワークシート

		Q3. モノカルチャー経済の問題点を考えよう	「農産物は価格の変動が激しく、天候の影響を大きく受けるため」 「鉱産資源については、資源が有限であるため」 「これらの理由で輸出ができなくなると経済が破綻する」 「適性の価格で購入することによってカカオ農家などの生産者や労働者への支援になる」 「賃金が上がることで生活が改善され児童の労働などの課題の解決にもつながる」		の経済の特徴を読み取ることができる【思判表】 ○モノカルチャー経済の問題点を考えることができる【思判表】
・フェアトレードの取り組みについて、適正価格で取り引きをすることが生産者の生活と自立を支えることを理解する	Q4. フェアトレードの役割について考えよう	・日本での事例を紹介する	□フェアトレードのマークと商品の写真 ○フェアトレードと自分たちの生活との関わりを考えることができる【主】		

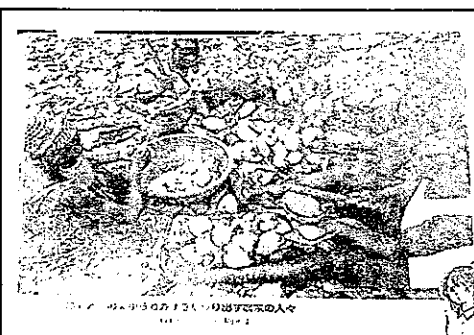
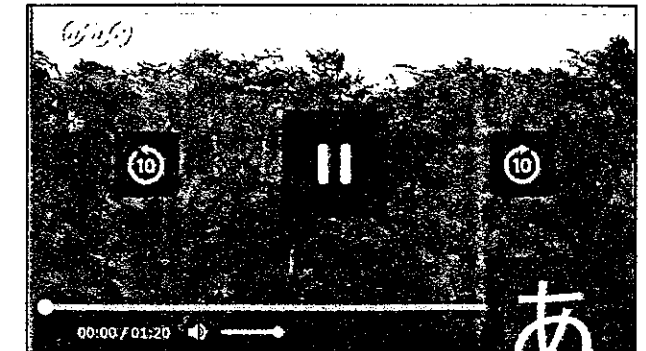
【御高評欄】

特定の輸出品に頼る アフリカの経済

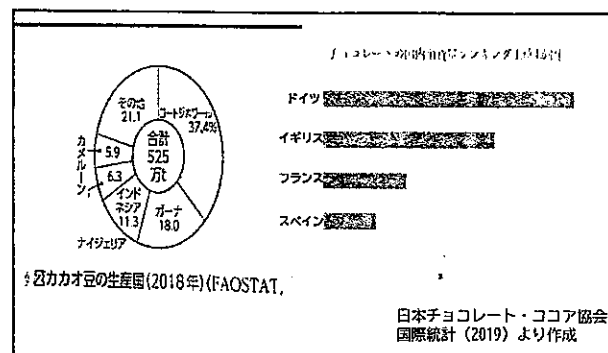


プランテーション

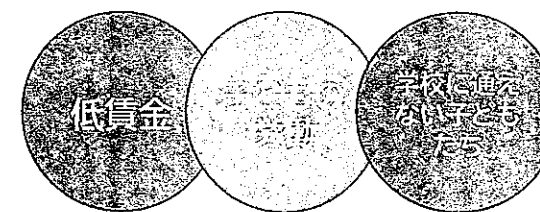
主に熱帯にみられる大規模な農園のことです。輸出向けの作物を、多くの労働者を雇って大量に栽培しています。歴史的には、植民地（→p.86）支配を行ったヨーロッパ諸国やアメリカ合衆国の企業などが運営してきました。



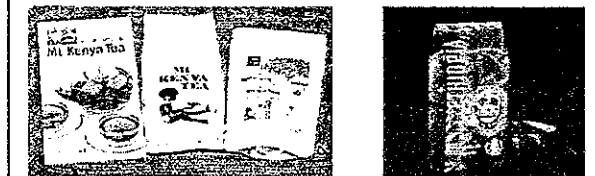
教科書
p.88①



動画からわかるカカオ農家の抱える課題



・カカオ以外にもケニアの（ア 茶）やエチオピアの（イ コーヒー）などが輸出用の作物として盛んに栽培されている



カカオ豆の生産は、農家の収入の源

カカオ豆の生産は、摘み取った実の殻を砕き、手で剥いて、手作業で種（カカオ豆）を取り出し、発酵・乾燥させるんだ。チョコレートは原料として外国の企業が買っていくけれど、私たち生産者の収入は手回りがかかるわりに多くはないから、暮らしは厳しいよ。外国で製品化されるチョコレートは、コートジボワールでは手に入れるのが難しい高級品だから、食べたことはないなあ。



Q1.

カカオ農家の人々は何でチョコレートを食べられないのだろう？

カカオ農家のインタビューを参考にして予想しよう



○アフリカの鉱産資源

・アフリカは金やダイヤモンド、原油、天然ガスなどの（ウ 鉱産資源）に恵まれている
→近年ではスマートフォンや自動車の部品などに使われる（エ レアメタル）が注目され、採掘が進んでいる

レアメタルとは

⑩ 埋蔵量が非常に少ない金属や、純粋なものを取り出すことが技術的・経済的に難しい金属の総称です。パソコンや携帯電話、自動車などの生産に欠かせない金属で、例えばプラチナは自動車の排ガスの浄化装置などに、リチウムは携帯電話の電池などに使われています。



マンガン
→乾電池などに使われる



クロム
→ステンレスなどに使われる



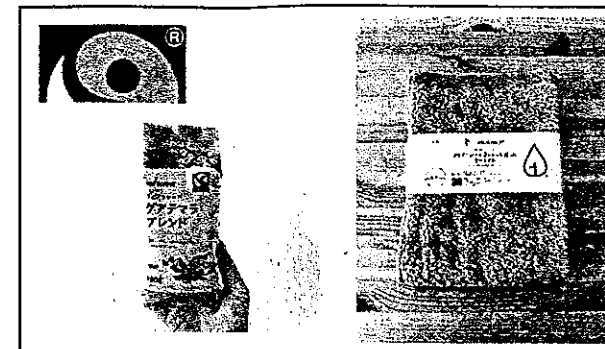
コバルト
→はさみの素材などに使われる

Q2. 教科書p. 89④を見て、各国の主な鉱産資源を読み取ろう



例
エジプト 原油・鉄鋼石

→このような鉱産資源は農産物とともに各国の重要な輸出品となっている



Q4. フェアトレードの役割についてまとめよう

フェアトレード (Fair Trade) とは

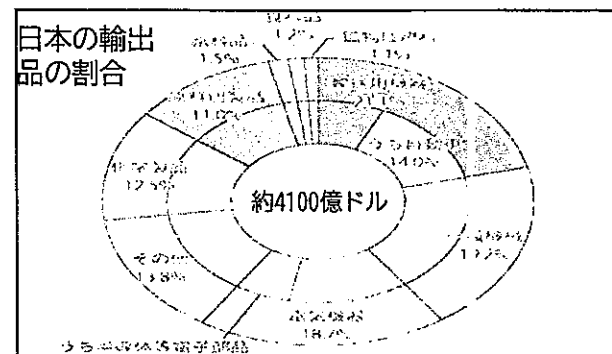
直訳すると「公正な貿易」
発展途上国の生産者と先進国の消費者が公正な価格で取引すること

⇒フェアトレードを行うことで発展途上国の生産者の人々にどのような良い影響があるだろう

教科書p. 89⑥の図から読み取れるアフリカの輸出品の特徴は何だろう

コートジボワール(2017年) 126億ドル	
カカオ豆 27.9%	金 6.6%
カシューナッツ 6.6%	天然ゴム 5.6%
ザンビア(2018年) 91億ドル	銅 75.2%
ナイジェリア(2018年) 624億ドル	原油 82.3%

※図アフリカ各国の主な輸出品(UN Comtrade)



アフリカの多くの国は、国の経済を特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼った状態になっている

⇒ (オ モノカルチャー経済)

mono(単一の) + culture(栽培)

→単一の産品や産業に頼った経済

